

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成26年8月21日)

- 夏休み時期における少年の非行・犯罪被害防止活動状況について 1
(生活安全部少年課)
- 交通事故発生状況（平成26年上半期）について 2
(交通部交通企画課)

警 察 本 部

夏休み時期における少年の非行・犯罪被害防止活動状況について

平成26年8月21日
警察本部
(生活安全部少年課)

夏休み時期における少年の非行・犯罪被害防止活動状況について報告する。
記

1 概要

夏休み時期は、少年が万引きや自転車盗等の犯罪や危険ドラッグを始めとした薬物乱用等の非行に走ったり、インターネット利用に起因した性被害などの福祉犯被害に遭うケースが少なくない。これを踏まえ、少年の非行・犯罪被害を防止するため、非行・犯罪被害防止教室、薬物乱用防止教室の開催やふれあい活動等集中的な取組を推進している。

2 非行・犯罪被害・薬物乱用防止教室開催状況

	4～6月	7月
非行防止教室	101	77
犯罪被害防止教室	24	3
薬物乱用防止教室	10	5
合計(開催教室数)	135	85



【非行防止教室の開催状況】

3 夏休み時期における主なふれあい活動等

- 少年非行防止キャンペーン「地域ふれあい活動」の実施（夏休み期間中）
地域全体で少年に愛情を持って明るく話し掛け、ふれあう等の活動を展開し、少年自身に地域社会の一員としての自覚を促すとともに、規範意識の向上を図り、少年の健全育成に期する事を目的とした、
 - ・ 親と子・地域の住民参加によるふれあい活動
 - ・ 少年の社会参加活動
 - ・ 薬物乱用防止、初発型非行防止等を目的とした広報参加活動等、26事業、参加予定者約2,500人による地域ふれあい活動を開催中
- 鳥取県青少年健全育成条例改正周知キャンペーンの開催（7月27日）
鳥取県青少年健全育成条例の一部改正（公布7月15日）に伴い、県下3か所において、条例の周知徹底を図るための広報キャンペーンを開催した。



【地域ふれあい活動の開催状況】



【広報キャンペーンの開催状況】

交通事故発生状況(平成26年上半年)について

平成26年8月21日
警察本部
(交通部交通企画課)

平成26年上半年の交通事故発生状況について、下記のとおり報告する。
記

1 交通事故発生状況(各年6月末)

(1) 県下の状況

	発生件数	死者数	負傷者数
平成26年	558件	12人	660人
平成25年	641件	13人	817人
増減数	-83件	-1人	-157人

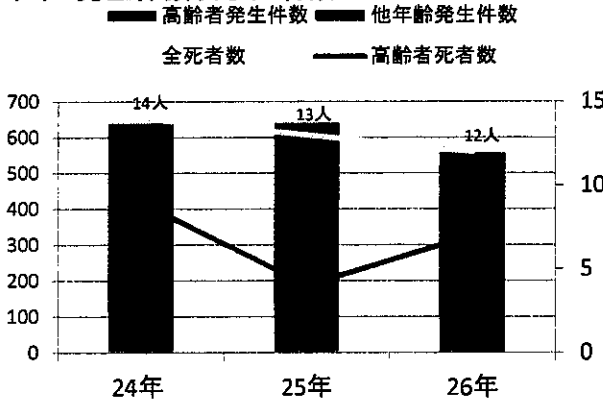
※ 発生件数、死傷者数ともに減少している。

(2) 全国・中国管区の死者数

	全国	中国管区
平成26年	1,925人	158人
平成25年	2,004人	165人
増減数	-79人	-7人

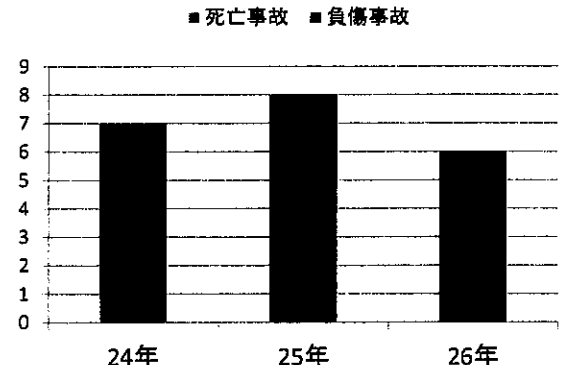
2 過去2年間の推移(各年6月末)

(1) 発生件数及び死者数



- 発生件数は減少傾向で推移
- 高齢者が第1当事者の構成率はH24年18.1%、H25年18.4%、H26年20.6%と微増傾向で推移

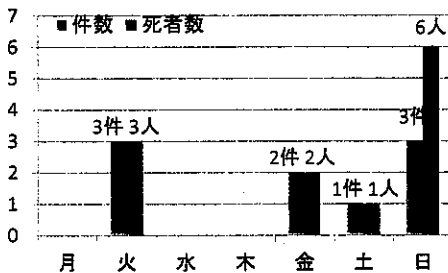
(2) 飲酒人身事故件数



- 発生件数は減少傾向
- 飲酒運転による死亡事故はH24年に1件

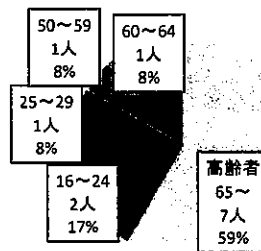
3 交通死亡事故の特徴(6月末)

(1) 曜日別発生件数・死者数



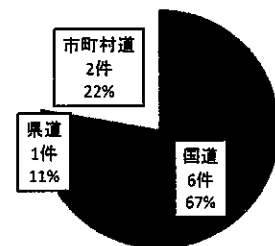
- 週末に集中して発生

(2) 死者の年齢別



- 高齢者が約6割を占める

(3) 路線別発生件数



- 国道が約7割を占める

4 下半期に向けた交通事故抑止対策

(1) 高齢者安全対策の促進

- シルバー・セーフティ・インストラクター、警察官による高齢者宅訪問活動の推進する。
- ことぶき号、わたりジョーズ君等安全教育機器を活用した交通安全教育の推進する。
- 関係機関、団体と連携した広報活動の推進する。

(2) 週末における交通安全対策を推進

- 週末に多くの死亡事故が発生していることから、週末の交通安全広報、パトカーによるレッド走行、交通指導取締りを強化する。

(3) 国道を中心とした交通安全対策の推進

- 国道での死亡事故が全事故の7割を占めていることから、国道を中心とした交通指導取締りを強力に推進する。